



日本共産党

市議会報告



2012年7月30日 第1220号

【発行】

日本共産党浦安市議団
市役所内控え室(議会棟1階)
☎&FAX (350)1243

子育ても老後も安心
住み続けたい浦安を



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎355-8526

minamotonton@
jcom.home.ne.jp



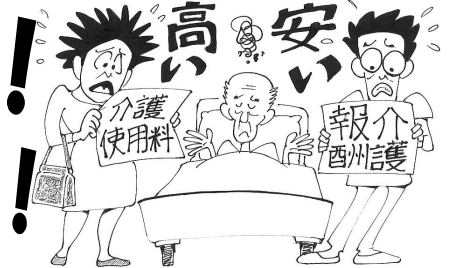
市議会議員
美勢 麻里

北栄 2-3-16-203
☎354-9269

m5mise@jcom.
home.ne.jp



利用者の負担軽減！ 介護職員の処遇改善を！



利用者に負担が直撃

介護保険制度は3年ごとに保険料が改定され、浦安市の第5期基準月額額は4100円と、第4期に比べて320円も増えています。更に、介護報酬の改定により、利用料まで負担が増えています。

日本共産党は、6月議会で利用者への負担軽減と介護職員の処遇改善を求めました。

10万円分利用で
4000円の負担増

仮に介護サービスを10万円分利用すると、利用者負担は原則として費用の1割で

その結果、加算は、交付金と異なり、保険料や利用者負担に反映されています。加算をすると、利用者負担が増えることを心配し、要介護者が申請しないといったことが起きると、介護労働者の賃金労働条件は向上しない仕組みになっているのです。

これまで、国は国費10割負担として介護職員処遇改善交付金を交付していました。ところが、4月より介護職員処遇改善加算として介護報酬の中に組み入れられてしまったのです。

すから1万円が利用者の負担でした。今回の改定により、訪問介護は加算率4%となり4000円、その1割400円が利用料にプラスされ、1万400円が利用者負担です。

サービス別加算率(抜粋)	
サービス	加算率
訪問介護	4.0%
訪問入浴介護	1.8%
通所介護	1.9%
夜間対応型訪問介護	4.0%
小規模多機能型居宅介護	4.2%

介護難民を生み出さない対策を
ケアマネージャーに現状を伺うと、「安心して働き続けるために賃金を上げて欲しいが、利用者への負担増は止めてほしい」この負担増に

消費税増税に頼らない 社会保障充実 財政再建の道

ムダ使いなく3・5兆円
余裕ある富裕層・大企業負担で8~11兆円
能力に応じて所得税で6兆円

元参議院議員
畑野君枝



日本共産党
衆議院比例代表
南関東ブロック予定候補

より「利用者が必要なサービスを削り、生活の質が低下することがないよう細心の注意を払っている」介護難民が生まれにくいようケアマネの研修会では重要課題となっているのです。

負担増について、市に軽減策を講ずるようみせ麻里議員が求めたのに対し、健康福祉部長は「対策する必要はないと考えている」ことが明らかになりました。

現場の声に市はもっと耳を傾け、利用者の負担軽減対策を考えるよう、日本共産党は今後も求めています。